PATLITE®

GA0001722_03
日本語

ワイヤレス・データ通信システム　WD PRO 受信機

TYPE　WDR-L(E)-Z2-PRO(-L)　設置説明書

■お客様へ

このたびは、パトライト製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
●本製品は、設置や配線など工事を伴う製品です。必ず専門業者へ工事を依頼してください。●本設置説明書は、設置や配線をおこなう専門業者向けの説明書です。●保守、点検や補修などをするときには、必ず本書を読み直してください。なお、ご不明な点は巻末に記載の技術・修理相談窓口へお問合せください。
●使用方法については、**当社ホームページより総合取扱説明書をダウンロード** してご覧ください。

ホームページアドレス	www.patlite.co.jp

■設置、施工、取付業者様へ

●設置前に本設置説明書および、総合取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
●本書は必ずお客様にお渡しください。

1　はじめにお読みください

■安全に関する表示について

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。●表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

⚠警告	**この表示の欄は「死亡または重症を負う可能性が想定される内容」を示します。**
⚠注意	**この表示の欄は「人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示します。**

●お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⊘	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。	⚠	この絵表示は、特定しない一般的な「注意」内容です。

■安全上のご注意

⚠警告 ⊘ 埋め込み型心臓ペースメーカーや医療電気機器の近くでは、電波によりそれらの装置、機器に影響を与えるおそれがありますので、本製品を使用しないでください。⊘本製品は、水などの液体の近くや油の飛び散る場所、湿気やほこりの多い場所では、使用したり設置したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。⊘取外し可能箇所以外の分解はしないでください。⊘ 事故を防止するため、本来の使用目的以外の製品の使用や本書に記載している以外の運転や保守作業はおこなわないでください。⊘本製品を医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命にかかわる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用をしないでください。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。⊘製品の分解、改造をしないでください。火災や感電などの原因となります。⊘ 結露した状態で使用しないでください。火災や感電などの原因となります。⊘本製品に液体をかけたり、金属物を接触させないでください。火災や感電などの原因となります。❗工事を伴う設置は、必ず専門業者へ依頼してください。火災や感電、落下などの原因となります。❗配線や製品の取付けは、必ず電源を切っておこなってください。火災や感電の恐れがあります。❗航空機内や病院内など、電波が周辺の機器に影響を与える場所や無線機器の使用が禁止されている場所では、必ず本製品の電源をオフにしてください。❗当社は、本製品の取扱い上の危険について、すべての状況を予測することはできません。したがって、すべての危険を取扱説明書で伝えること はできません。事故を防止するため、製品の運転・保守作業をおこなう場合は、本書の指示事項だけでなく、一般的に要求される安全対策を おこなってください。❗万一、煙が出ている、悪臭がするなどの異常状態が発生した場合は、すぐに本製品への電源供給を止めてください。そのまま使用されますと、火災や感電の原因となります。

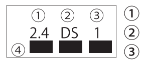
⚠注意 ⊘ 本製品は、他の電化製品のそばには取付けないでください。ファクシミリ、パソコン、テレビ、電子レンジ、モータを使用した機器などのそばに設置すると、正常に動作しない場合があります。⊘次のような場所では、使用／保管しないでください。誤動作や故障の原因となることがあります。・通気性、換気性の悪い場所・強電解、強磁界の発生する機器の近く・直射日光の当たる場所・衝撃や振動が加わる場所・暖房器具の近く・塵埃、鉄粉などが多く発生する場所・火気の近くや高温多湿な場所・落下の可能性がある場所・潮風にさらされる場所⊘本製品を薬品の近くで使用しないでください。薬品によっては付着すると本製品が溶けたり、変形することがあります。⊘製品本体に付着した汚れは、水を含ませたやわらかい布などで拭き取ってください。（シンナー、ベンジン、ガソリン、油などで拭かないでください）❗電波の性質上、通信可能な距離であってもノイズや周囲環境などにより通信不能に陥る場合があります。❗静電気防止のため、体に帯電している静電気を放電させてから作業をおこなってください。（他の、アースされている金属部分を素手で触れると、静電気を放電させることが出来ます）❗補修パーツは、必ず、総合取扱説明書に記載している指定部品を使用してください。

■ 電波法について

●本製品は、日本国内の電波法に基づき設計・製造され、電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定『特定無線設備の種別：第 2 条第 1 項 第 19 の無線設備 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システム』を取得しています。必ず次のことを守ってご使用ください。
・本製品の改造、ファームウェア変更をおこなうと、電波法に基づいた処罰を受けることがありますので、絶対におこなわないでください。・本製品の違法な改造、および使用に関しては、いかなる責任も負いかねます。・万一、本製品から有害な電波干渉の事例が発生した場合には速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、混信回避の処置（例．パーティションの設置）などをおこなってください。
●本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、混信回避のための処置など（パーティションの設置）をご検討ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、巻末に記載の技術・修理相談窓口へお問い合わせください。

●現品表示（ARIB STD-T66）について各記号の意味は次のとおりです。



① 2.4　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
② DS　：変調方式を表わし、直接拡散方式を使用しています。
③ 1　：移動体識別装置の構内無線局に対して規定される与干渉距離を示します。想定干渉距離は、10m 以内です。
④バー記号　：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

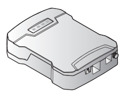
2　型式構成

WDR-L-Z2-PRO（-L）　：WD PRO受信機、ACアダプタ同梱
WDR-LE-Z2-PRO（-L）：WD PRO受信機、ACアダプタ無し

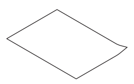
※ (-L)オプションはソフトウェア仕様を示します。

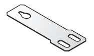
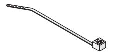
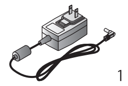
3　内容物

製品 1 台

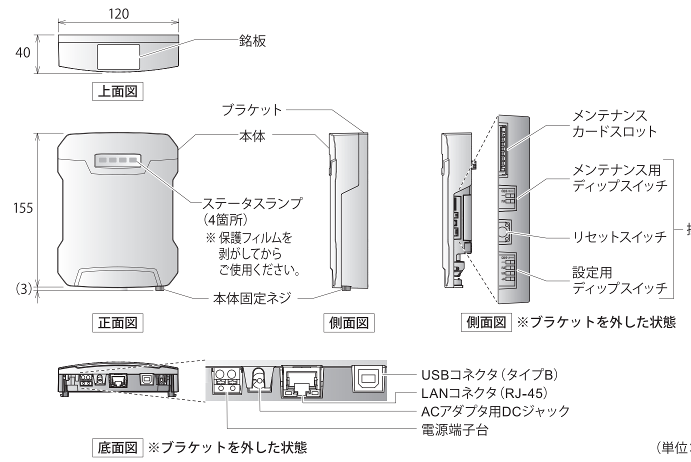


設置説明書（本書）1 部



付属品		
ケーブル固定シート	ケーブルタイ	AC アダプタ （WDR-L-Z2-PRO（-L）のみ）
		
1 個	1 個	1 個

4　各部の名称と寸法



5　取付方法

⚠警告 ❗作業をおこなう際は、必ず非通電状態にしてください。製品本体への電源供給は、必ず製品本体をブラケットに固定した後で実施してください。

⚠注意 ❗取付場所は、次を満たすようにしてください。
・振動が少ないこと・十分な強度があること・平らな場所であること
❗製品を壁面に取り付ける際は、埃などの侵入を防ぐために配線側が下になるように取付けてください。

❶ 製品から本体固定ネジを取り外す。

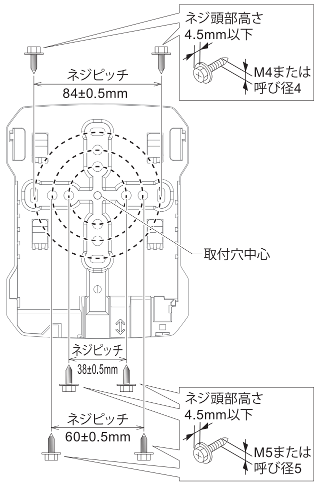
〈注〉・本体固定ネジを落とさないように注意してください。

❷ 本体を上側にスライドさせて、ブラケットから本体を取り外す。

❸ ネジを使用して、ブラケットを取付面に固定する。

推奨締付トルク	1.4N・m

〈注〉・ブラケットを固定するネジは付属していません。お客様でご用意ください。（ブラケット厚み：6mm）
・ネジは、取付穴中心を点対象に 2 箇所以上で固定してください。

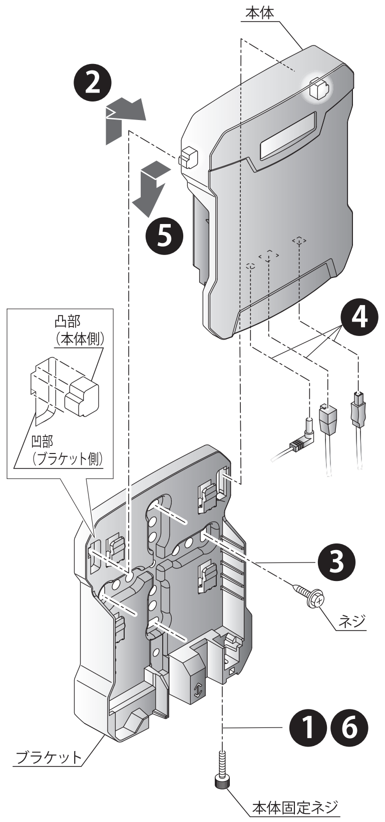


❹ 本体に USB ケーブルまたは LAN ケーブル、AC アダプタまたは電源端子台にリード線を接続する。

（→ 6 配線方法）

❺ ブラケットの凹部分に本体の凸部分を合わせ、本体を下側にスライドさせてブラケットに取り付ける。

〈注〉・本体とブラケットを取り付ける際は、ケーブルを挟まないように注意してください。
・左右の凹凸がしっかり合っていることを確認してください。
・本体は「カチッ」と音がするまでスライドさせてください。



❻ 製品に本体固定ネジを取り付けて、本体をブラケットに固定する。

〈注〉・本体固定ネジで本体とブラケットをしっかり固定してください。
・本体固定ネジを必要以上に締め過ぎないでください。故障する恐れがあります。
・本体固定ネジを落とさないように注意してください。

6　配線方法

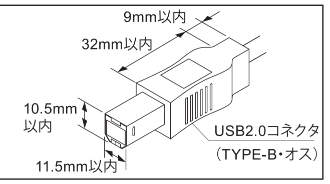
本製品には USB ケーブル、LAN ケーブル、リード線は付属していません。お客様でご用意ください。

⚠警告 ❗製品本体への電源供給は、LAN ケーブル、AC アダプタ、リード線に電源を供給している状態で配線せずに、必ず製品本体をブラケットに固定した後で実施してください。

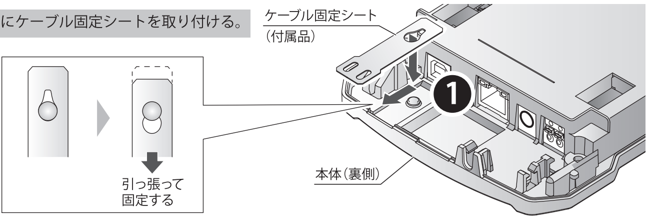
⚠注意 ❗電源供給は、電源端子台または AC アダプタのどちらか一方から入力してください。（USB ケーブル接続時や LAN ケーブルで PoE 給電をしている場合は、電源入力は不要です）

6.1.USB ケーブルの配線方法

⚠注意
❗ケーブルタイは付属品を使用してください。
❗USB ケーブルは、3m 以下のものを使用してください。
❗USB コネクタ接続時は、LAN 通信ができません。使用するケーブルだけを接続してください。
❗本体に接続する USB ケーブルのコネクタは右図の形状、寸法を満たすものをお選びください。



❶ 本体にケーブル固定シートを取り付ける。

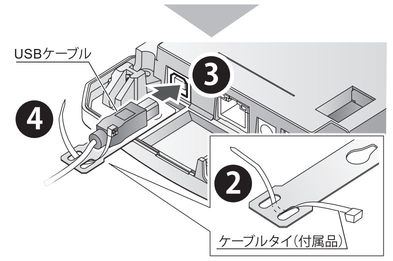


❷ ケーブル固定シートにケーブルタイを取り付ける。

❸ 本体の USB コネクタに USB ケーブルを挿し込む。

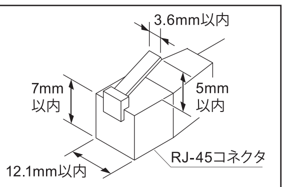
❹ USB ケーブルをケーブルタイで結束し固定する。

〈注〉余ったケーブルタイはニッパーなどで切断してください。



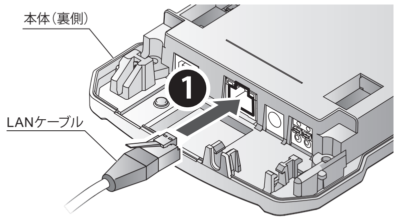
6.2.LAN ケーブルの配線方法

⚠注意 ⊘LAN ケーブルを屋外へ引き回すことなく、PoE ネットワークは必ず屋内で構成してください。雷による過渡電圧の影響を受けて本体が故障する恐れがあります。❗LAN ケーブルは、カテゴリ 5e 以上（推奨カテゴリ 6 以上）を使用してください。（ストレートケーブルとクロスケーブルのどちらでも使用できます）❗本体に接続する LAN ケーブルの RJ-45 コネクタは右図の形状、寸法を満たすものをお選びください。⊘LAN ケーブルを接続するときは、USB ケーブルを接続しないでください。



❶ 本体の LAN コネクタに LAN ケーブルを挿し込む。

〈注〉LAN ケーブルのコネクタが「カチッ」と音がするまで挿し込んでください。



6.3. 電源供給部分の配線方法

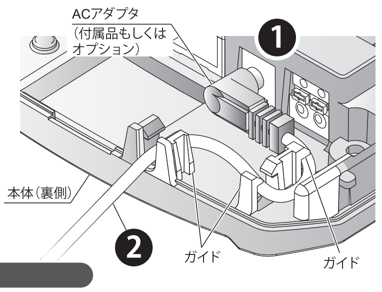
本製品への電源供給は、AC アダプタと電源端子台の 2 種類があります。

6.3.1. AC アダプタで電源供給する場合

⚠注意 ❗本体の DC ジャックには、付属の AC アダプタもしくは ADP-001（オプション）のみ使用できます。

❶ 本体の DC ジャックに AC アダプタ（付属品もしくはオプション）のプラグを挿し込む。

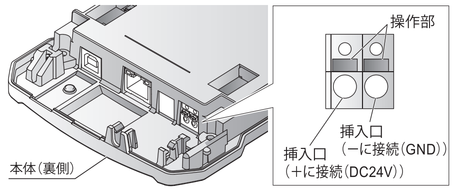
❷ AC アダプタのコードをガイドに沿って配線する。



6.3.2. 電源端子台で電源供給する場合

⚠警告 ❗リード線を挿し込む場所を間違えないよう注意してください。間違えると内部回路が焼損し、火災の原因となります。❗リード線を接続後にリード線の充電部が露出していないことを確認してください。充電部が露出しているとリード線同士のショートにより焼損や火災の原因となります。⊘供給する電源は 100W 以上の電源を使用しないでください。火災や感電などの原因となります。

■ 電源端子台 PIN 配置



■ リード線の推奨仕様

線種	UL1007 / UL1430
線径（より線）	φ0.51 ～ 1.29mm （AWG24 ～ 16）

温度定格が 75℃以上、導体が銅線のものをご使用ください。

■ 電源端子台への配線方法

❶ 電源端子台の操作部にマイナスドライバなどを当て、押し込む。

❷ ストリップしたリード線を挿入口に挿入する。

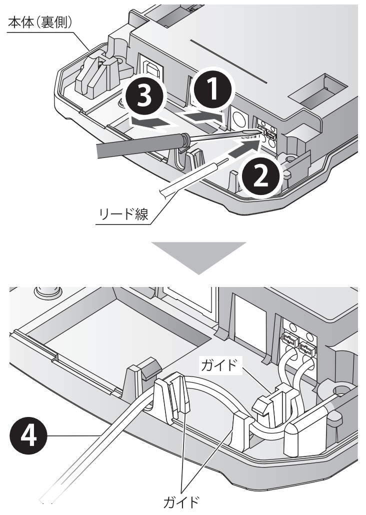
〈注〉リード線はまっすぐ挿入してください。

❸ 操作部からドライバを離す。

〈注〉リード線がロックされ、抜けないことを確認してください。

❹ リード線を図のようにガイドに沿って配線する。

ポイント
- マイナスドライバは刃先幅 3mm 以下、刃厚 0.6mm 以下のものを使用してください。（相当品でも可）
- 操作部を必要以上に強く押さないでください。破損する恐れがあります。
- リード線のストリップ寸法は 6 ～ 7mm にしてください。
- リード線を取り外す際は、引っ張って取り外さないでください。（必ずマイナスドライバなどで操作部を押し込んでロックを解除してください）



7　仕様

型式		WDR-L-Z2-PRO（-L）	WDR-LE-Z2-PRO（-L）
定格電圧		DC24V（電源端子台入力、DC ジャック入力）、DC48V（PoE 電源）、DC5V（USB バスパワー）	
	付属 AC アダプタ	AC100V ～ AC240V 50/60Hz	ー
電圧許容範囲		DC21.6V ～ DC26.4V（電源端子台入力、DC ジャック入力）、 DC43V ～ 57V（PoE 電源）、DC4.75V ～ 5.25V（USB バスパワー）	
	付属 AC アダプタ	AC90V ～ AC264V	ー
定格消費電流	標準	100mA（DC24V 時）　70mA（PoE：DC48V 時）　300mA（USB：DC5V 時）	
	最大	150mA（DC24V 時）　100mA（PoE：DC48V 時）　500mA（USB：DC5V 時）	
定格消費電力	標準	3.0W（付属 AC アダプタ：AC100V 時）	ー
	最大	4.5W（付属 AC アダプタ：AC100V 時）	ー
電源入力		電源端子台（スクリューレス端子台）、AC アダプタ用 DC ジャック、 USB タイプ B（USB バスパワー対応）、LAN コネクタ（IEEE802.3af Class0 準拠）	
使用周囲温度	本体	-10℃ ～ 50℃	
	付属 AC アダプタ	0℃ ～ 40℃	ー
使用周囲湿度		85%RH 以下　結露、氷結なきこと	
保存周囲温度	本体	-20℃ ～ 60℃	
	付属 AC アダプタ	-10℃ ～ 70℃	ー
保存周囲湿度		85%RH 以下　結露、氷結なきこと	
取付場所 / 取付方法		屋内 / 水平設置　壁取付　天井取付	
保護等級		IP20	
質量		300g ±10%（付属 AC アダプタを除く）	
ステータスランプ		状態表示用 LED x 4 個	
操作部		設定用ディップスイッチ x1 個、メンテナンス用ディップスイッチ x1 個、リセットスイッチ x1 個	
接続可能送信機		WDT-4LR-Z2、WDT-5LR-Z2、WDT-6LR-Z2、WDT-6LR-Z2-PRO、 WDT-5E-Z2、WDT-6M-Z2（混在使用可能）	

製品保証規定

［Ver.2.1（2018.07.27）］

この保証規定は、お客様がお買い上げ頂いた製品に関して、株式会社パトライト（以下、「弊社」といいます）が保証する内容について明記しています。

第１条（目的）
1. 本規定は、弊社の製品（以下、「本製品」といいます）に関する保証責任の取扱いについて定めるものとします。
2. お客様が本製品の使用を開始された時点で、お客様は本規定に同意して頂いたものとし、お客様と弊社との間で本規定の効力が有効に生ずるものとします。

第２条（保証対象および保証期間）
弊社は、お客様が本製品を購入された日から１年以内（以下、「保証期間」といいます）に本製品について以下の各号のいずれかに該当した場合（以下、「不良」といいます）、次条に定める保証責任を負うものとします。
①本製品の外形または内部に本製品の用途または機能を損なう変質または変形が発生した場合
②本製品が製品仕様書に定められた性能を発揮しない場合

第３条（保証内容）
1. 弊社は、本製品に不良が生じた場合（以下、「不良品」といいます）、自らの裁量によって無償による修理または代替品の提供のいずれかの措置を講じるものとします。
2. 弊社が前項の措置を講じた場合、当該措置がなされた本製品の保証期間は、当初の不良品に関する保証期間と同一とします。
3. 弊社が第１項に基づきお客様に対して本製品の代替品の提供を行った場合、弊社において回収致しました不良品の所有権は、弊社に帰属するものとします。
4. 弊社は、第１項の代替品の提供に関して、製造中止等の諸事情により同一製品を提供できない場合には、自らの裁量により本製品と同等以上の性能を有する製品を提供できるものとします。
5. 以下の各号の部材は、保証の対象外とします。
   ①消耗品（モータ・電球・ロータゴム・パッキン・Oリング・キセノン基板等）
   ②輸送中における本製品の保護を目的とした梱包材料（製品梱包箱・ビニール袋・緩衝材等）

第４条（免責事項）
1. 弊社は、以下の各号のいずれかに該当する場合、不良に関して前条に定める保証責任を負わないものとします。
   ①本製品の輸送・運搬中に発生した衝撃・落下等の外部的要因により不良が発生した場合
   ②本製品の製品仕様書・取扱説明書・取り扱い上の注意等に違反することにより不良が発生した場合
   ③本製品が設置または接続された装置・機器・車両・船舶・建造物・ソフトウェア等による外的要因に起因して不良が発生した場合
   ④お客様または第三者が事前に弊社の承諾を得ることなく本製品の分解・改造・補修・付属品取付等を行ったことにより不良が発生した場合
   ⑤お客様または第三者の故意または過失により不良が発生した場合
   ⑥お客様が第５条第３項の禁止事項に違反した結果、不良が発生した場合
   ⑦火災・地震・台風・落雷等の天災地変または公害・塩害・静電気・停電・異常電圧等の外部的要因に起因して不良が発生した場合
   ⑧本製品の販売時点における科学または技術に関する知見によっては、弊社が不良を予測することができない場合
   ⑨通常使用に基づく本製品の自然消耗または経年劣化により不良が発生した場合
   ⑩本製品が日本以外の国において使用されたことにより不良が発生した場合
   ⑪保証期間の満了後に不良が発生し、お客様において当該不良が保証期間内に発生したことを証明することができない場合
   ⑫弊社に対して本書のご提示がない場合
2. 弊社は、第３条第１項の措置の実施の有無を問わず、不良に起因してお客様に生じた通常損害、特別損害、機会損失、逸失利益、事故補償、当社製品以外の製品（本製品と通信回線等により接続されているか否かを問いません）に関する損傷、損失、不具合、データ損失および不良を修補するための費用（人件費、工事費、交通費、運送費等をいいますが、これらに限られません）のいずれに関しても、一切の責任を負わないものとします。
3. お客様が使用されるシステム・機械・装置等への本製品の適合性はお客様自身でご確認いただくものとし、弊社はこれらと本製品との適合性について一切の責任を負わないものとします。

第５条（ソフトウェアの取扱い）
1. 本製品に弊社が著作権者であるソフトウェア（以下、「本ソフトウェア」といいます）が内蔵されている場合、弊社は、お客様に対して本ソフトウェアを日本国内で使用する非独占的で譲渡不能な使用権を許諾するものとします。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能を向上させるべく、自らの裁量により本ソフトウェアをバージョンアップすることができるものとします。弊社は、ソフトウェアのバージョンアップに起因してお客様に生じた通常損害、特別損害、機会損失、逸失利益、事故補償、当社製品以外の製品（本製品と通信回線等により接続されているか否かを問いません）に関する損傷、損失、不具合、データ損失および不良を修補するための費用（人件費、工事費、交通費、運送費等をいいますが、これらに限られません）のいずれに関しても、一切の責任を負わないものとします。
3. お客様は、事前に弊社の承諾を得ることなく、以下の各号の行為を行ってはならないものとします。
   ①本ソフトウェアを複製すること
   ②本ソフトウェアの改変・結合・リバースエンジニアリング・逆コンパイル・逆アセンブル等を行うこと
   ③本ソフトウェアを第三者に対して再使用許諾・貸与・レンタル・転売すること
   ④本ソフトウェアを第三者に送信可能な状態でネットワーク上に蓄積すること
   ⑤本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去すること

第６条（その他）
1. 本製品に関する製品仕様書・取扱説明書・カタログ等の記載内容は、事前に予告なしに変更する場合があります。
2. 本製品に関する弊社の責任は、本規定をもって全てとし、弊社はこれ以外に一切の責任を負わないものとします。
3. 本保証書は、日本国内においてのみ有効に効力を生ずるものとします。お客様または第三者が本製品を海外へ輸出される場合、本規定の適用は除外されるものとし、本製品に関する全ての責任は、輸出元に帰属するものとします。
4. 弊社は、お客様による紛失・損傷等の事由を問わず、お客様に対して本書の再発行を行わないものとします。
5. 本書は、本書に明示した条件に基づき保証をお約束するものです。従って、本書によって弊社およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

第７条（準拠法および管轄裁判所）
本規定は、日本法を準拠法とし、日本法に従って解釈されるものとします。本規定の履行および解釈に関して紛争が生じたときは、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とするものとします。

以上

株式会社パトライト

＜ご注意＞本製品保証規定は、2014 年 6 月 1 日より適用されます。万が一、お客様がお買い上げ頂いた製品に弊社の旧製品保証規定が記載された取扱説明書が同封されていた場合であっても、本規定の効力のみが適用されますので、ご了承下さい。

世界中に「安心・安全・楽楽」をお届けする
株式会社 パトライト
J2G
www.patlite.co.jp
〔受付〕月～金 9:00～17:00
土・日・祝日・当社休業日を除く
●技術・修理相談窓口（無料）：0120-497-090
※ご注文・価格・納期等は、購入先にお問い合わせください。